

令和5年度生涯研修セミナー

メインテーマ

笑顔の溢れる健康長寿を目指して

Aチーム：歯科医療の新たなる展開

講師陣 講演要旨

超高齢社会のパーシャルデンチャーの最新スタンダード

若林 則幸

パーシャルデンチャーの治療は、残存歯の歯周炎や歯列不正などにより、対応が難しくなることが多い。本セミナーでは、高齢者に対するパーシャルデンチャーの設計を行う上で不可欠な考え方と、診療に必要な技術とを解説する。また、保険導入された磁性アタッチメントの使用方法について解説し、臨床例を紹介する。複数の症例の設計と治療方針に触れることで、パーシャルデンチャーの診療力を高める一助となるようにしたい。

ラミネートベニア修復治療の最前線

大河 雅之

現在、補綴修復治療はバイオミメティック（生体模倣）アプローチという考え方が浸透し、できるだけ歯の構造を保存する接着修復が潮流となってきている。従来型の保持形態、抵抗形態付与のためのアグレッシブな支台歯形成は、前歯のみならず臼歯においても、今やそれらの再治療時のみに用いられるべきと考える。つまり現段階では歯の硬組織の再生が困難である以上、治療侵襲は必要最小限にとどめ、残存する歯の構造と組織を温存し天然歯固有の優位性を最大限に生かし生物学的、構造力学的、機能的、審美的特性を天然歯に近似させ再現させることがベニア補綴修復治療の目的となる。